

段ボールでまもろう

程よく目かくし

おむつ替え台

所要時間：20分 / 対象：2歳頃まで



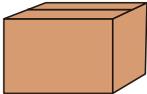
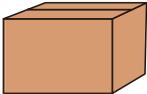
❗ 囲いは目かくし用です。「つかまり立ち」をさせないでください。

おむつ替え台はこんなときに役立つ

ただでさえ気の張る避難所で、目をはなせない小さいお子さまのいる親御さんの負担は相当なものです。中でもお困りの方が多いと聞くと、おむつがえのスペース。手ごろな高さ・目かくしはなかなか無いものです。大きめの段ボールが入ったら、手づくりしてみるのはいかがでしょうか。

(★マニュアル『ベビーベッド』の土台としても使えます。)

必要な材料・工具

 <p>A台用 お子さまを寝かせるのに程よい高さ(目安25~30cm) 複数個 ※四角く並べて台にします ※同じ高さでなくてもOK</p>	<p>段ボール</p>  <p>B天板用 大きめの段ボール箱 1個</p>	 <p>C囲い用 大きめの段ボール箱 1個</p>	+	 ボールペンなど書けるもの <hr/>  カッター 又は  はさみ <hr/>  毛布 1枚 <hr/>  粘着テープ (透明のOPPテープだとしっかり貼れます)
---	---	---	---	--

作り方

下準備

A(台)の段ボールの高さをそろえます

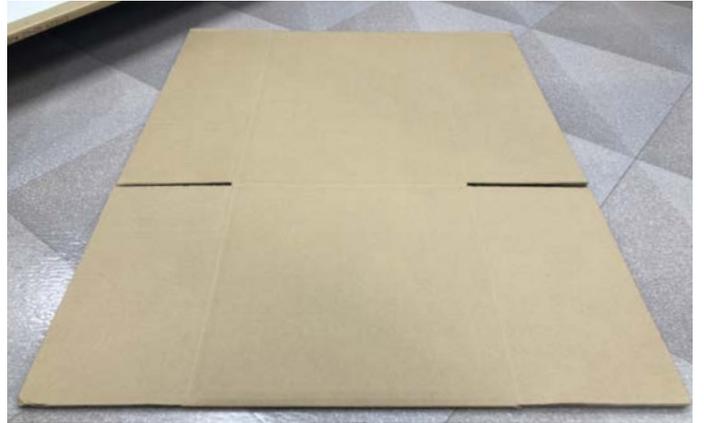
(元々高さがそろっている場合はこの手順を飛ばしてください。)

- 1 一番高さの低い箱を組み立てて粘着テープで固定します。



注意 四角に組み合わせる時に箱の天地は変えないでください。強度が落ちます。

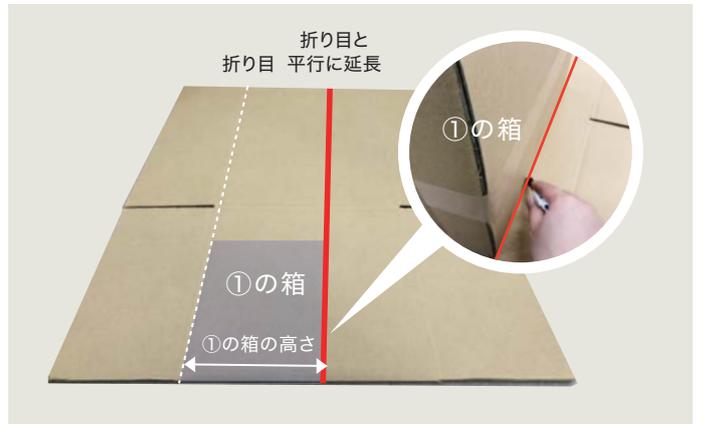
- 2 A(土台)に使用する段ボールのうち①以外を写真のようにたたみます。



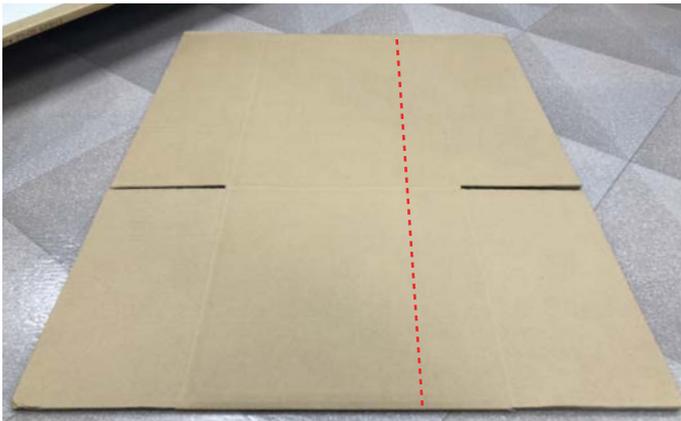
- 3 ①の箱を横にたおし、②で畳んだ箱の片側の折り目に沿って置きます。



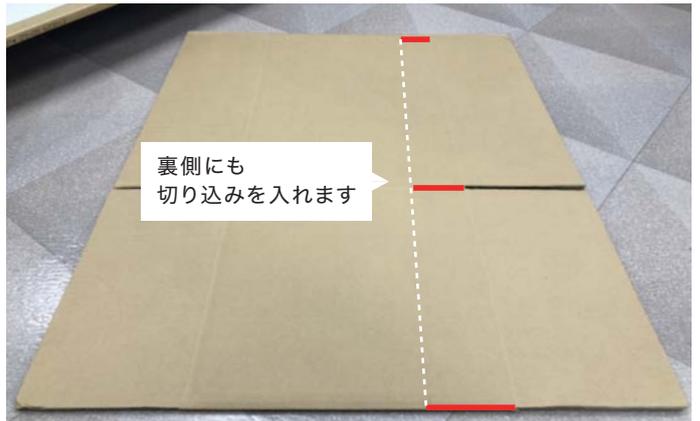
- 4 ①の箱のはしに沿って、たたんだ箱に線を引きます。ひっくり返して裏面にもつながるように線を引きます。



- 5 刃を出していないカッターで④の線をなぞり、折り目を付けます。



- 6 フラップの切り込みを延長し、⑤で付けた折り目の線にぶつかるまで切り込みます。



段ボールの「フタ」と「底」の切り込みが入った部分のことを「フラップ」といいます。

7

⑤の折り目の位置から折り曲げてフタをします。
底も閉じて全て粘着テープで固定します。

箱の高さがそろいました。



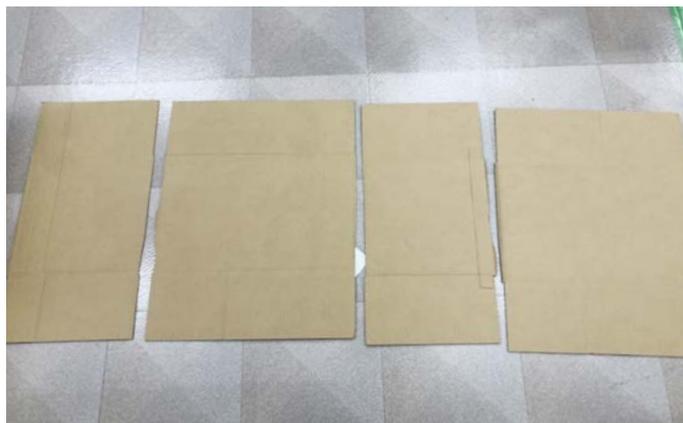
おむつがえ台を作ります

1

A(台)の高さのそろった段ボールを
大きな直方体になるように並べて配置し、
互いを粘着テープで固定します。

2

B(天板用)の段ボールの側面の辺を
全て切り、4枚の板に分けます。



ポイント

箱を動かしてもバラバラにならないくらい
上下左右をしっかりと固定してください

3

②を①の土台の上に四角くしきしつめて
テープで固定します。土台がいびつな場合は、
欠けている部分をふさぐようにしてください。

4

切り口でのけが防止のために見えている
紙のはしを全てを粘着テープでふさぎます。



ポイント

箱の内側だった面を上側にとすると清潔です。

！ 囲いは目隠し用です。「つかまり立ち」をさせないでください ！

5

目かくしの囲いをつくります。
C(囲い用)の段ボールを切り開き、
紙のはしを全て粘着テープでふさぎます。



6

⑤の壁を④の土台の周りに立て、
囲うように曲げます。



7

指や頭がはさまるのを防ぐため、
台と囲いのつなぎ目、天板と囲いのすき間を
全て粘着テープでふさぎ、固定します。



8

使い方に応じて毛布をかけます。



注意 赤ちゃんをのせる所は特に念入りにすき間なく貼ってください

完成



マニュアル「ベビーベッド」をのせると
高さ・屋根のあるベッドにもできます。

